

18歳意識調査 「第10回 - 地方創生 -」詳細版

日本財団 2019年2月21日

目次

調査概要	3
育った場所	5
将来暮らしたい場所	6
暮らしたい場所 理由	7
「地方創生」認知	8
「首都機能移転」認知	9
「消滅可能性都市」認知	10
「ふるさと納税」認知	11
「地方創生」策はうまくいっていると思うか	12
「地方創生」策はうまくいっていると思うか 理由	13
東京一極集中している現状について	14
東京一極集中している現状 問題がある理由	15
首都圏への人口流入が続く状況を変えるための対策	16
首都圏への人口流入が続く状況を変えるための対策 理由	17

調査概要「18歳意識調査」 -地方創生-

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 800

※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	133	133	134	400
女性	133	133	134	400
計	266	266	268	800

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2019年1月24日（木）～ 1月27日（日）

調査手法 インターネット調査

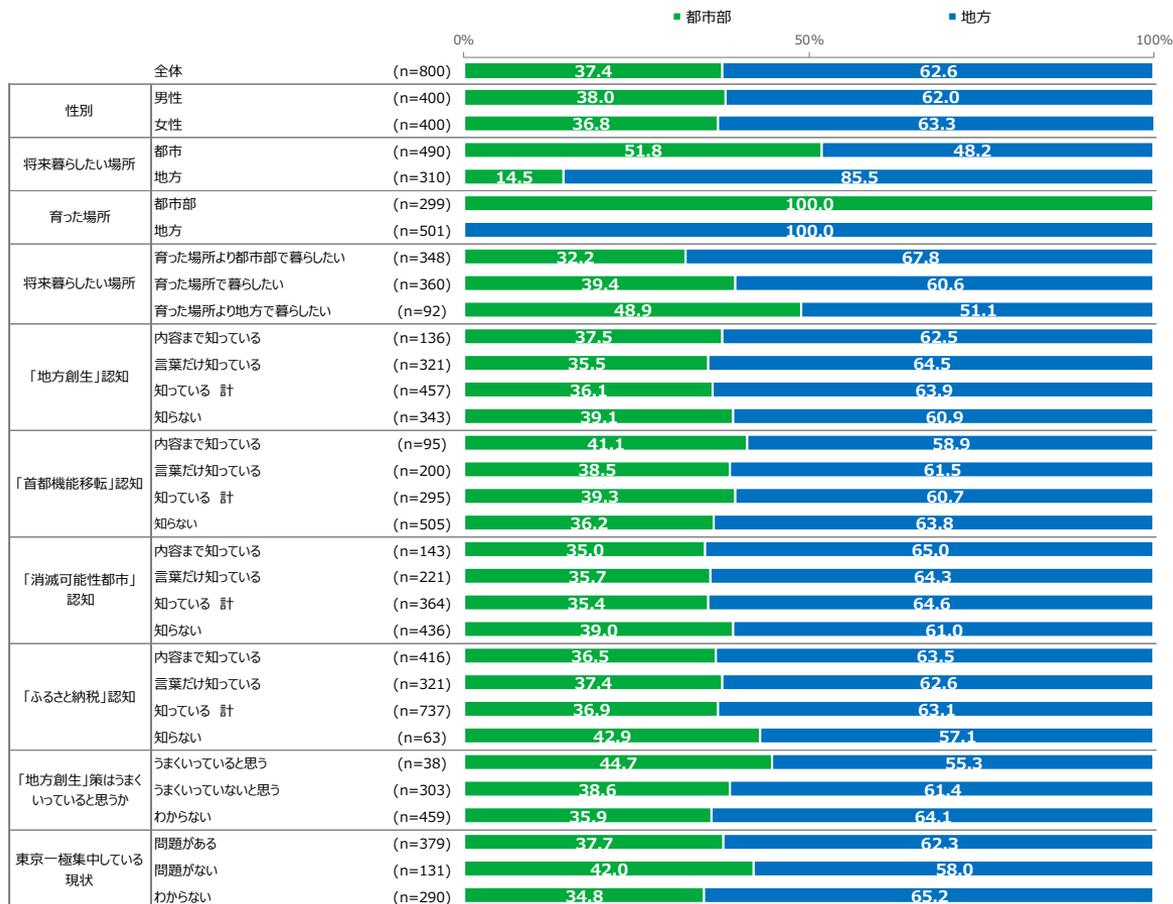
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

詳細

育った場所

- アンケート回答者の育った場所は、「都市部」37.4%、「地方」62.6%。

Q1 あなたは以下のどちらで育ちましたか。あなたが多くの時間を過ごした場所でお答えください。



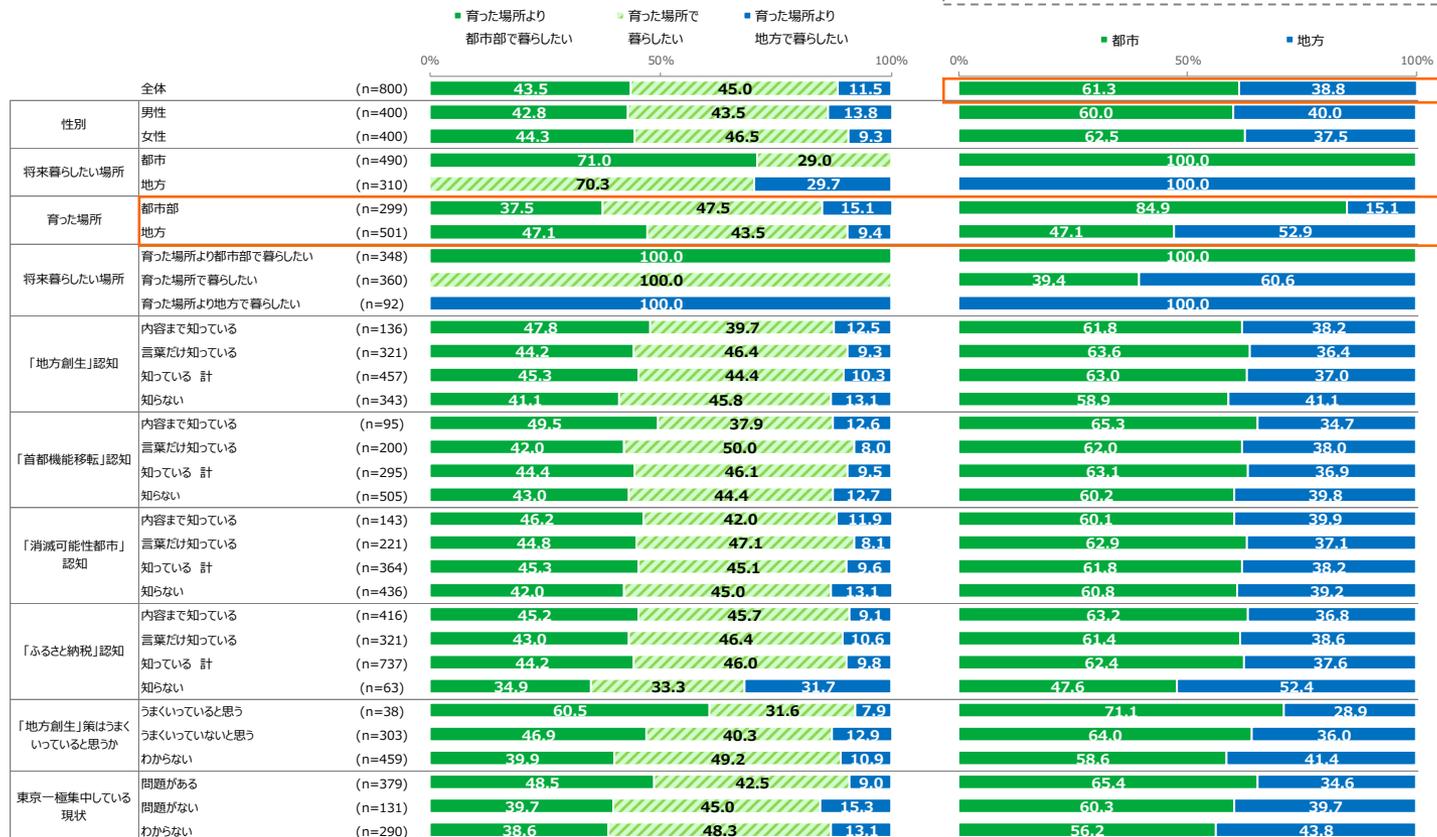
将来暮らしたい場所

- 全体では、「都市」61.3%、「地方」38.8%と、都市で暮らしたい人が多い。
- 「都市部」で育った人は、84.9%が「都市」での暮らしを希望。「地方」で育った人は、「都市」47.1%、「地方」52.9%という結果であった。

Q2 あなたは将来、どこで暮らしたいですか。

(選択肢：育った場所より都市部で暮らしたい/育った場所で暮らしたい/
育った場所より地方で暮らしたい)

※以下のように、将来暮らしたい場所を振り分けた
「育った場所より都市部で暮らしたい」→「都市」
「育った場所より地方で暮らしたい」→「地方」
「都市部で育った」かつ「育った場所で暮らしたい」→「都市」
「地方で育った」かつ「育った場所で暮らしたい」→「地方」

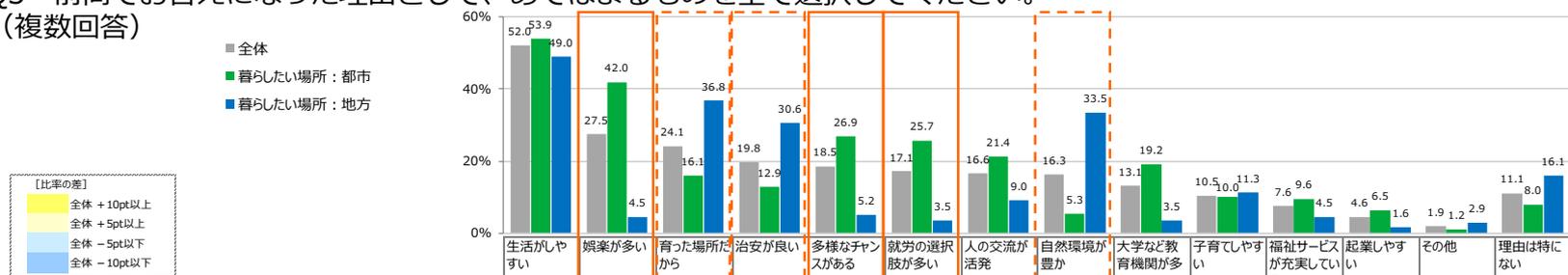


暮らしたい場所 理由

- 都市・地方に関わらず、将来その場所で暮らしたい理由のトップは「生活がしやすい」。
- 「都市」で暮らしたい理由は、「娯楽が多い」「多様なチャンスがある」「就労の選択肢が多い」。
- 「地方」で暮らしたい理由は、「育った場所だから」「自然環境が豊か」「治安が良い」。

Q3 前問でお答えになった理由として、あてはまるものを全て選択してください。

(複数回答)

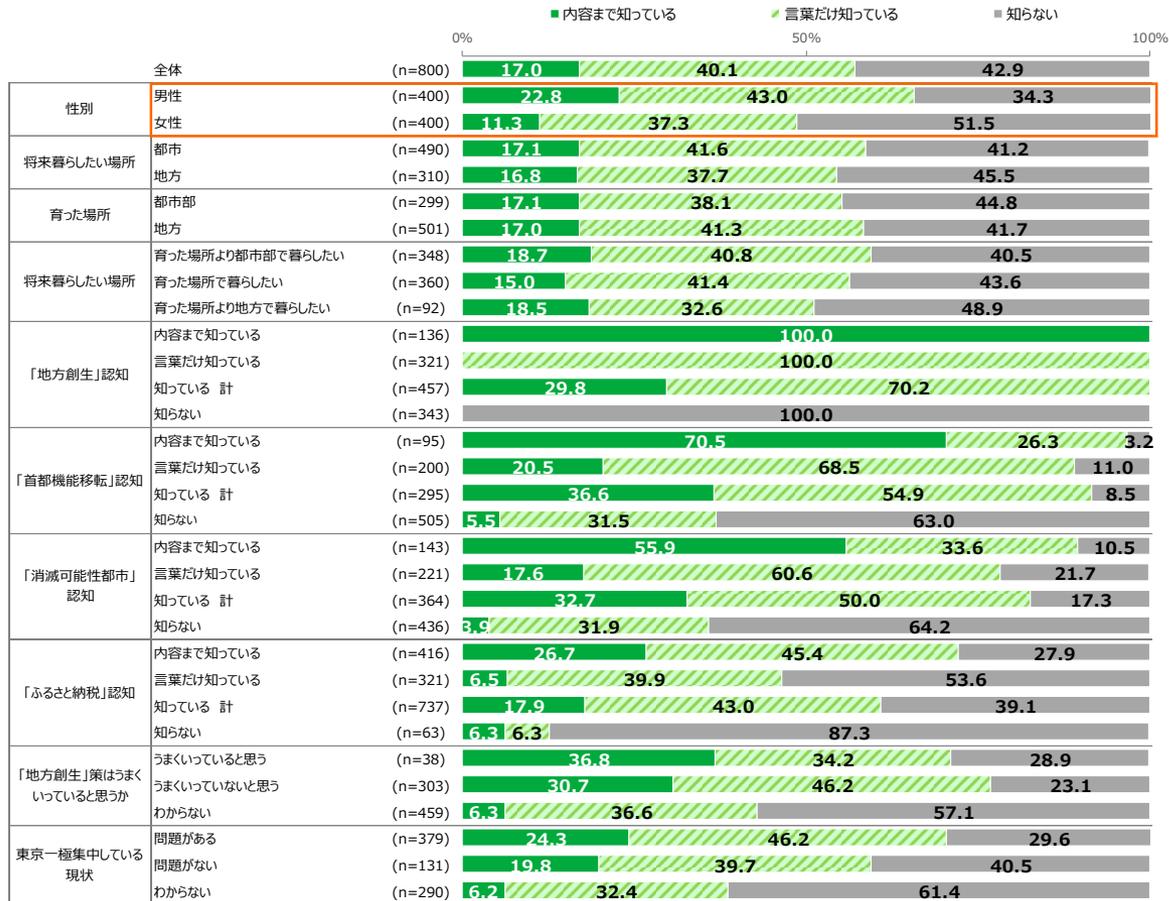


	全体 (n=800)	52.0	27.5	24.1	19.8	18.5	17.1	16.6	16.3	13.1	10.5	7.6	4.6	1.9	11.1
性別	男性 (n=400)	52.3	27.3	22.0	19.3	18.3	15.8	17.8	17.3	11.3	9.0	10.5	5.5	1.3	13.5
	女性 (n=400)	51.8	27.8	26.3	20.3	18.8	18.5	15.5	15.3	15.0	12.0	4.8	3.8	2.5	8.8
将来暮らしたい場所	都市 (n=490)	53.9	42.0	16.1	12.9	26.9	25.7	21.4	5.3	19.2	10.0	9.6	6.5	1.2	8.0
	地方 (n=310)	49.0	4.5	36.8	30.6	5.2	3.5	9.0	33.5	3.5	11.3	4.5	1.6	2.9	16.1
育った場所	都市部 (n=299)	52.8	27.4	24.7	19.1	16.7	16.7	15.1	15.1	16.4	11.7	9.4	4.7	0.7	9.0
	地方 (n=501)	51.5	27.5	23.8	20.2	19.6	17.4	17.6	17.0	11.2	9.8	6.6	4.6	2.6	12.4
将来暮らしたい場所	育った場所より都市部で暮らしたい (n=348)	49.4	52.0	2.9	7.2	35.3	30.2	25.9	2.6	21.0	8.3	9.5	7.8	1.4	7.8
	育った場所で暮らしたい (n=360)	59.2	9.4	50.3	32.2	5.3	8.1	10.3	22.2	8.3	12.8	6.4	2.5	2.2	11.4
	育った場所より地方で暮らしたい (n=92)	33.7	5.4	2.2	18.5	6.5	3.3	6.5	44.6	2.2	9.8	5.4	1.1	2.2	22.8
「地方創生」認知	内容まで知っている (n=136)	56.6	33.8	22.1	24.3	25.7	22.8	22.8	24.3	20.6	12.5	13.2	7.4	1.5	5.1
	言葉だけ知っている (n=321)	57.6	31.8	25.2	20.9	19.3	21.2	16.8	18.1	15.3	12.1	7.8	3.7	2.2	7.5
	知っている 計 (n=457)	57.3	32.4	24.3	21.9	21.2	21.7	18.6	19.9	16.8	12.3	9.4	4.8	2.0	6.8
	知らない (n=343)	44.9	21.0	23.9	16.9	14.9	11.1	14.0	11.4	8.2	8.2	5.2	4.4	1.7	16.9
「首都機能移転」認知	内容まで知っている (n=95)	56.8	33.7	21.1	21.1	25.3	22.1	24.2	21.1	24.2	12.6	13.7	7.4	2.1	6.3
	言葉だけ知っている (n=200)	57.5	30.5	27.5	21.5	17.5	22.0	19.5	20.0	15.0	16.0	10.5	5.5	2.0	6.0
	知っている 計 (n=295)	57.3	31.5	25.4	21.4	20.0	22.0	21.0	20.3	18.0	14.9	11.5	6.1	2.0	6.1
	知らない (n=505)	48.9	25.1	23.4	18.8	17.6	14.3	14.1	13.9	10.3	7.9	5.3	3.8	1.8	14.1
「消滅可能性都市」認知	内容まで知っている (n=143)	58.0	33.6	28.0	27.3	23.1	22.4	23.1	25.2	22.4	19.6	13.3	8.4	2.1	5.6
	言葉だけ知っている (n=221)	58.8	31.2	23.5	19.0	19.5	19.5	18.6	17.2	14.0	10.4	9.0	4.1	1.4	7.2
	知っている 計 (n=364)	58.5	32.1	25.3	22.3	20.9	20.6	20.3	20.3	17.3	14.0	10.7	5.8	1.6	6.6
	知らない (n=436)	46.6	23.6	23.2	17.7	16.5	14.2	13.5	12.8	9.6	7.6	5.0	3.7	2.1	14.9
「ふるさと納税」認知	内容まで知っている (n=416)	61.8	31.0	27.2	22.6	22.1	21.2	19.5	22.4	17.1	13.0	8.9	5.0	2.6	4.1
	言葉だけ知っている (n=321)	47.4	27.4	24.0	18.4	15.6	14.6	14.3	10.6	10.3	9.0	6.2	4.4	0.9	11.5
	知っている 計 (n=737)	55.5	29.4	25.8	20.8	19.3	18.3	17.2	17.2	14.1	11.3	7.7	4.7	1.9	7.3
	知らない (n=63)	11.1	4.8	4.8	7.9	9.5	3.2	9.5	4.8	1.6	1.6	6.3	3.2	1.6	55.6
「地方創生」策はうまくいっていると思うか	うまくいっていると思う (n=38)	28.9	18.4	18.4	18.4	23.7	15.8	18.4	15.8	5.3	18.4	23.7	5.3	0.0	5.3
	うまくいっていないと思う (n=303)	57.8	34.0	26.1	21.5	22.1	22.8	19.1	22.4	17.2	12.9	9.9	6.9	2.6	4.0
	わからない (n=459)	50.1	24.0	23.3	18.7	15.7	13.5	14.8	12.2	11.1	8.3	4.8	3.1	1.5	16.3
東京一極集中している現状	問題がある (n=379)	57.3	34.3	25.9	20.1	20.8	22.4	20.1	20.3	17.7	13.2	9.0	6.1	2.6	3.4
	問題がない (n=131)	55.0	24.4	26.0	22.1	20.6	13.0	18.3	19.1	9.9	11.5	7.6	4.6	0.8	6.9
	わからない (n=290)	43.8	20.0	21.0	18.3	14.5	12.1	11.4	9.7	8.6	6.6	5.9	2.8	1.4	23.1

「地方創生」認知

- 「地方創生」の認知率は57.1%（「内容まで知っている」17.0%、「言葉だけ知っている」40.1%）。
- 男性の方が女性に比べて認知率が高い。

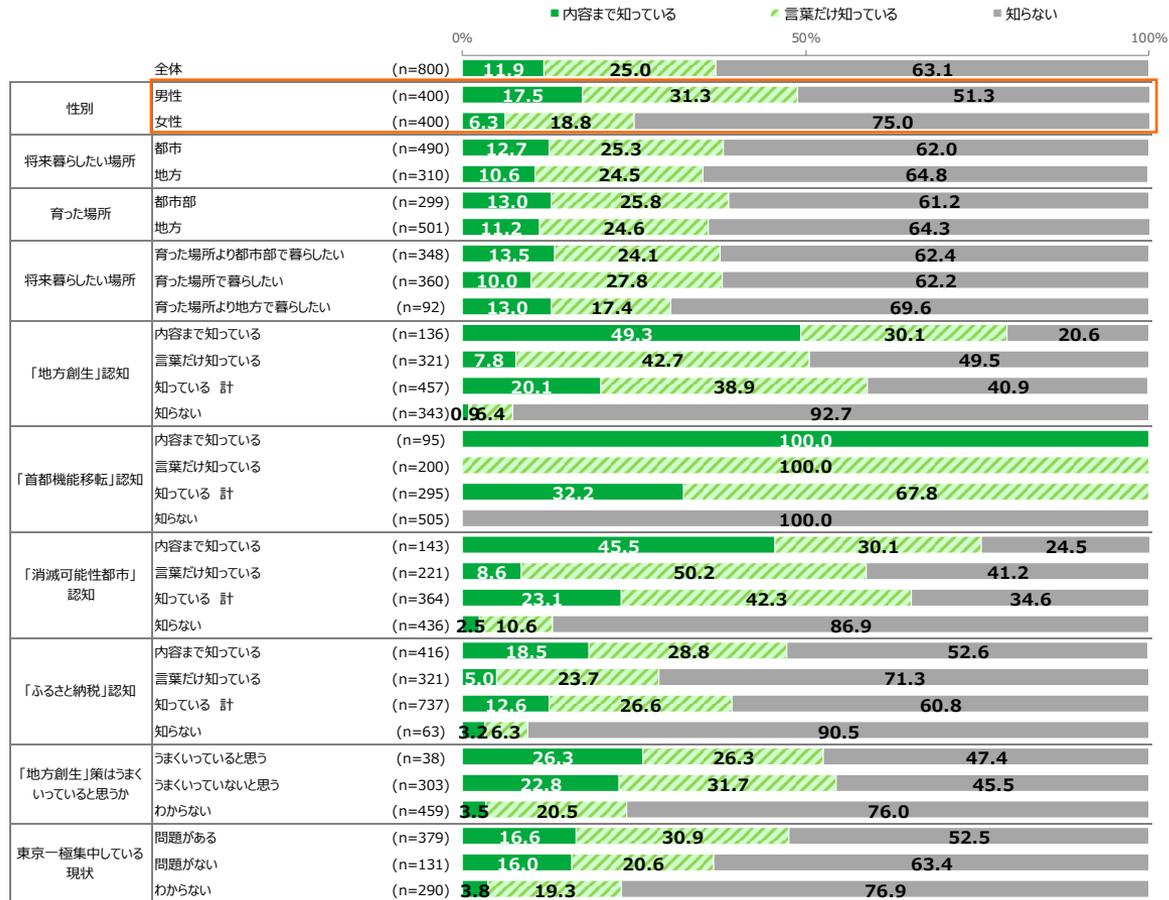
Q4 あなたは以下の言葉を知っていますか。あなたの考えに近いものを選択してください。／地方創生



「首都機能移転」 認知

- 「首都機能移転」は過半数の63.1%が「知らない」と回答。認知率は36.9%。
- 「地方創生」と同様に、男性の方が女性に比べて認知率が高い。

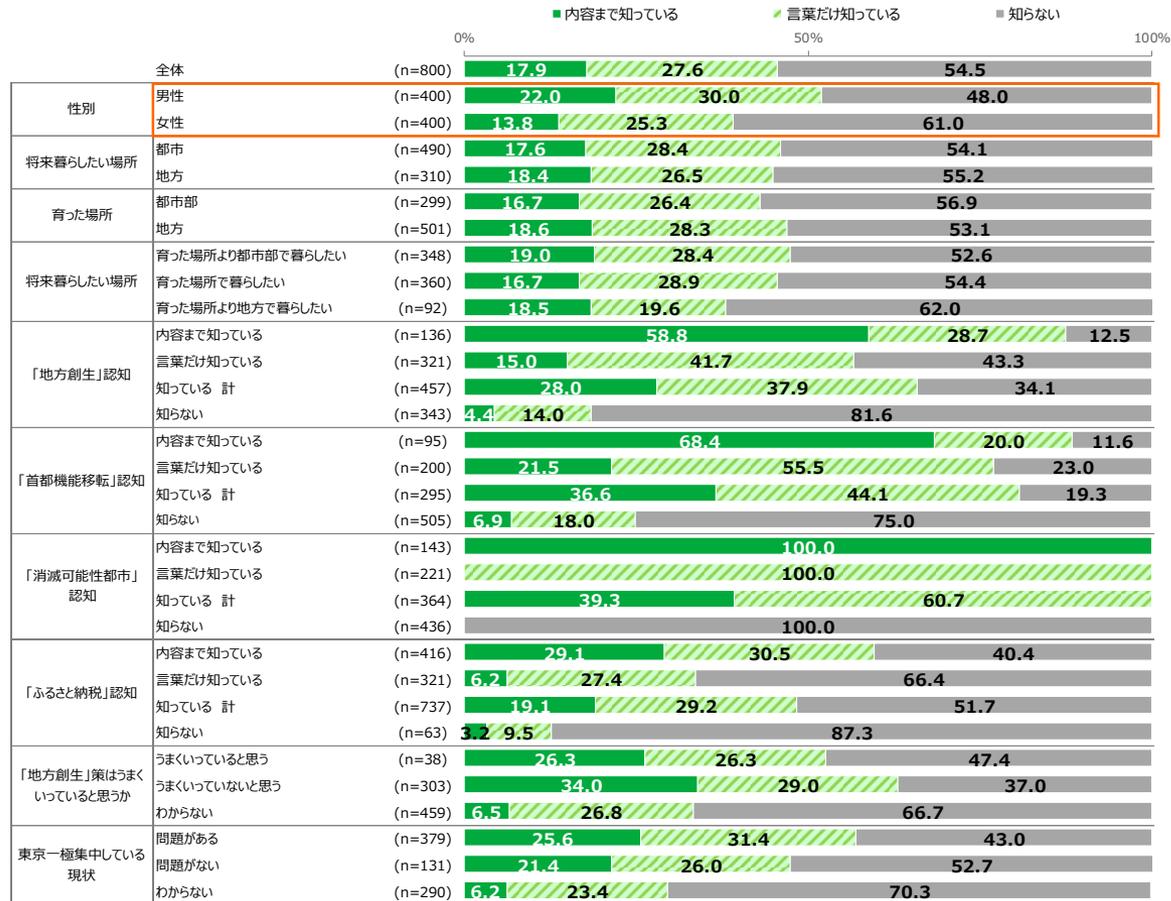
Q4 あなたは以下の言葉を知っていますか。あなたの考えに近いものを選択してください。／首都機能移転



「消滅可能性都市」認知

- 「消滅可能性都市」は過半数の54.5%が「知らない」と回答。認知率は45.5%。
- 「地方創生」や「首都機能移転」と同様に、男性の方が女性に比べて認知率が高い。

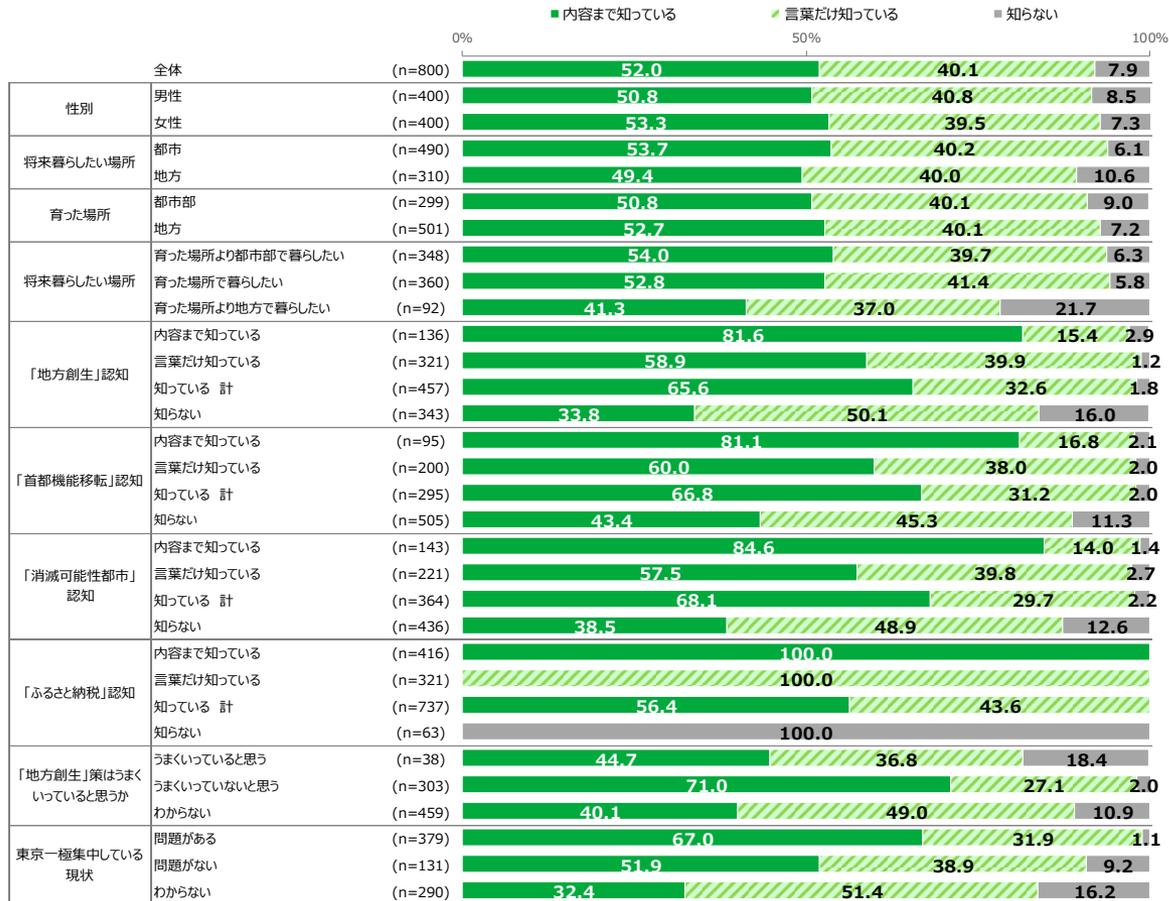
Q4 あなたは以下の言葉を知っていますか。あなたの考えに近いものを選択してください。／消滅可能性都市



「ふるさと納税」認知

- 「ふるさと納税」の認知率は92.1%と高い。過半数の52.0%が「内容まで知っている」と回答。

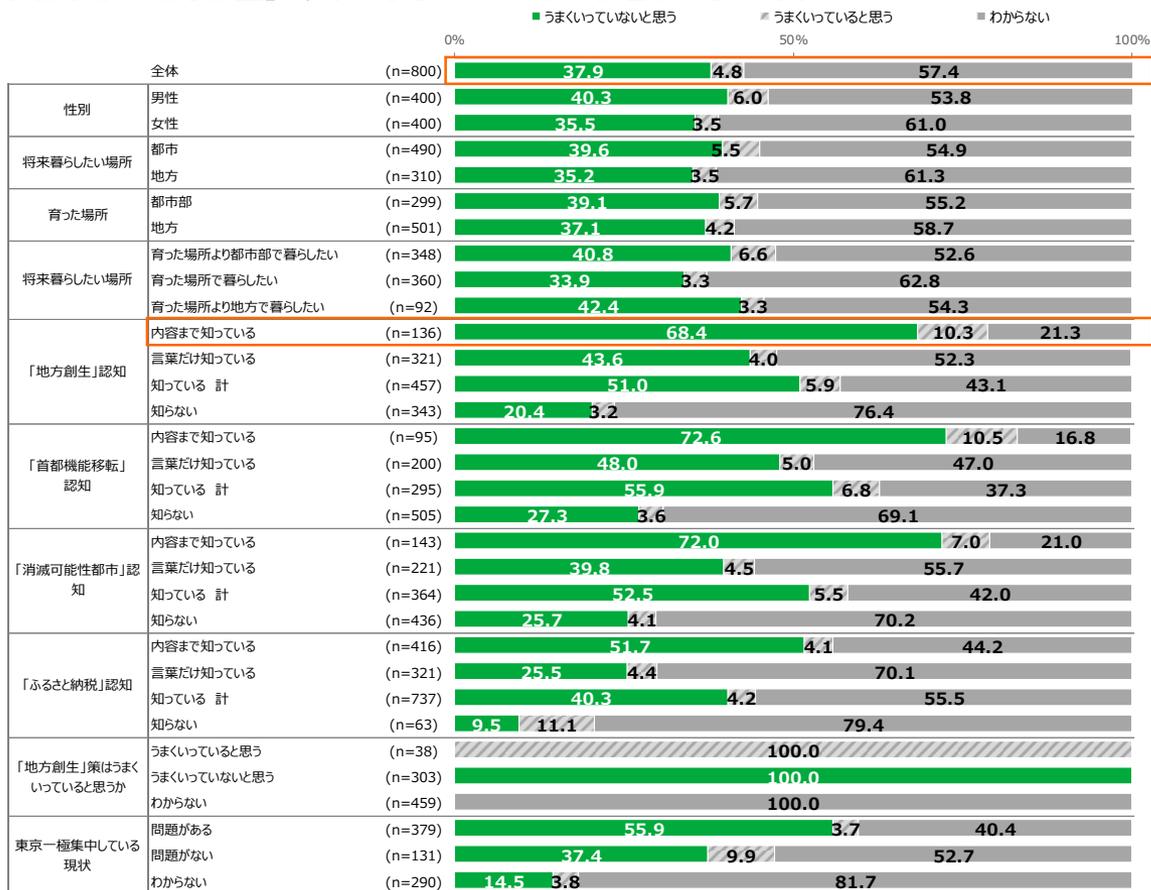
Q4 あなたは以下の言葉を知っていますか。あなたの考えに近いものを選択してください。／ふるさと納税



「地方創生」策はうまくいっていると思うか

- 全体の37.9%が「うまくいっていないと思う」と回答し、「うまくいっていると思う」はわずか4.8%。
- 過半数は「わからない」と回答。
- 「地方創生」の内容まで知っている層は、68.4%が「うまくいっていない」と回答。

Q5 あなたは政府が進める「地方創生」策が、うまくいっていると思いますか。



「地方創生」策はうまくいっていると思うか 理由

- 「うまくいっていない」理由として、「東京の人口が増え続けている」「就職、進学、便利さ、などで東京や東京の近辺を中心に考えている人が多くいる」「地方の過疎化が改善しているように思えない」などの意見があがり、東京への一極集中・地方の人口減少が改善されている実感がない様子がかがえる。また、「具体的成功事例を聞かない」「どのような内容の活動をしているのか全然有名でない」などの意見も。
- 「うまくいっている」と回答した人からは「地方志向の人が増えているのを肌で感じる」などの回答があった。
- 「わからない」理由としては、「言葉の意味を知らない」「考えたことがない」「どのような政策を行なっているのかを知らない」などの回答があがり、そもそも「地方創生」策を認知していない人が多い。

Q6 前問でそのようにお答えになった理由や問題点をご記入ください。（自由回答抜粋）

「うまくいっていないと思う」自由回答抜粋

- いつまでも格差が縮まらずむしろ広がっているから。（男性）
- そんなに知られていないということは浸透していない＝うまくいってない（女性）
- どのような内容の活動をしているのか全然有名でないから。（女性）
- 具体的成功事例を聞かない（男性）
- 実感がわからないから。（男性）
- 本社機能が集まる東京への一極集中は是正されていないから。（男性）
- 結局都会に人が集まっているから。（女性）
- まだまだ都心に移住したいという若者がいるから。（女性）
- 結果的に東京の方が就職や起業に向いているので、東京に集中する。（女性）
- 実際、東京の人口が増え続けているから。（男性）
- 就職、進学、便利さ、などで東京や東京の近辺を中心に考えている人が多いイメージが自分にはあり、実際不便な田舎に移住しようと考えてる人をあまり聞かないので今はうまくいっていないのかなと思います。（男性）
- 地元では徒歩圏内で行ける場所が限られるし、交通機関が発達していないので車がないと生活できない。仕事をするにしても東京の方が選択肢が多いし時給も良い。（女性）
- うまくいっているところもありいっていないところもあり……実際問題就職先がないほど田舎だと都会に出ざるを得ないですね（女性）
- 地方よりも都市の方が仕事や学校がまだに多いから。（女性）
- まだ地方人口は減少し続けて居ると思うから。（女性）
- 今でも地方から東京に出ていく人の方が多いと思うから。（女性）
- 自分が住んでいる市の人口が増えていないから。（男性）
- 地方の過疎化が改善しているようにあまり思えない（女性）
- 地方の人口減少に歯止めがかかってないから。（男性）
- 地方大学が東京の大学より魅力が低いことで、地方から東京へ流入してしまうことが問題だと思う（男性）

「うまくいっていると思う」自由回答抜粋

- あまり有名でなかった所が独自のイベント事などを通して旅行者が急増しているから。（女性）
- 最近地方に移住し田舎暮らしをすることがニュースで取り上げられているし、はやっていると思ったから（女性）
- 最近地方志向の人が増えているのを肌で感じる（女性）

「わからない」自由回答抜粋

- あまりその言葉を聞く機会が少ないから（男性）
- その言葉の意味を知らないから（男性）
- 詳しく知らないから（男性）
- 意識して考えたことがない（女性）
- 言葉しか知らないため（男性）
- 地方創生という言葉も知らなかったから（女性）
- ニュースなどでもあまり聞かない内容だから（男性）
- そもそも知らなかったから、浸透していないし上手くいっているのか分からない（女性）
- テレビなどで地方に若者が住み始めているという番組を見るが、実際に全国的な比率は分からないため。（女性）
- どのような状態なら上手くいっているということになるかがわからないから（男性）
- どのような政策を行なっているのかを知りません（男性）
- 具体的にどのような策が取られているのかよく分からない（女性）

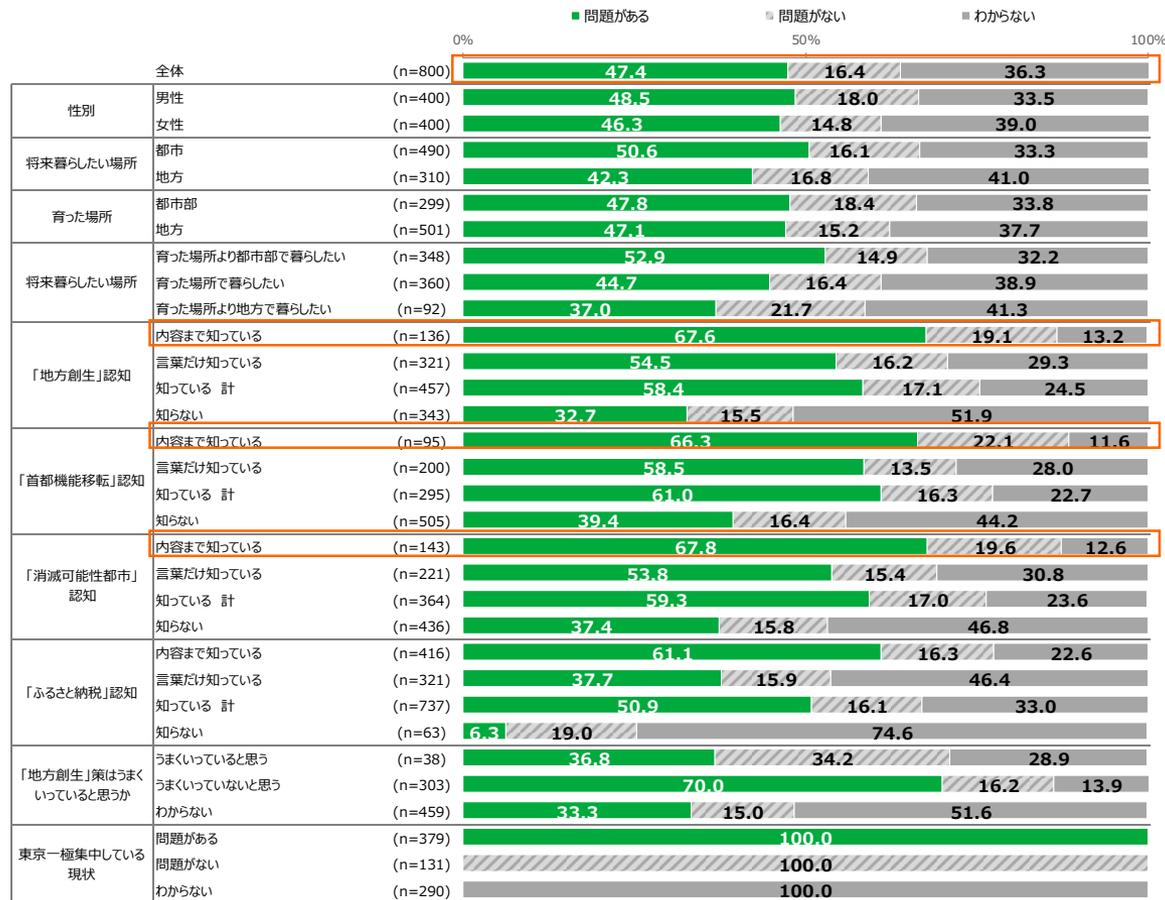
【「地方創生」策はうまくいっていると思うか理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

東京一極集中している現状について

- 全体の47.4%が「問題がある」と回答。
- 「地方創生」「首都機能移転」「消滅可能性都市」の認知者は、60%以上が「問題がある」と回答した。

Q7 あなたは東京に一極集中している現状をどう見ますか。



東京一極集中している現状 問題がある理由

- 「問題がある」と回答した理由としては、「地方が衰退する」（69.7%）が最も多く、次いで「大規模災害時に国の機能がマヒする」（54.9%）、「通勤ラッシュ・交通渋滞などマイナス面が大きい」（54.6%）など。

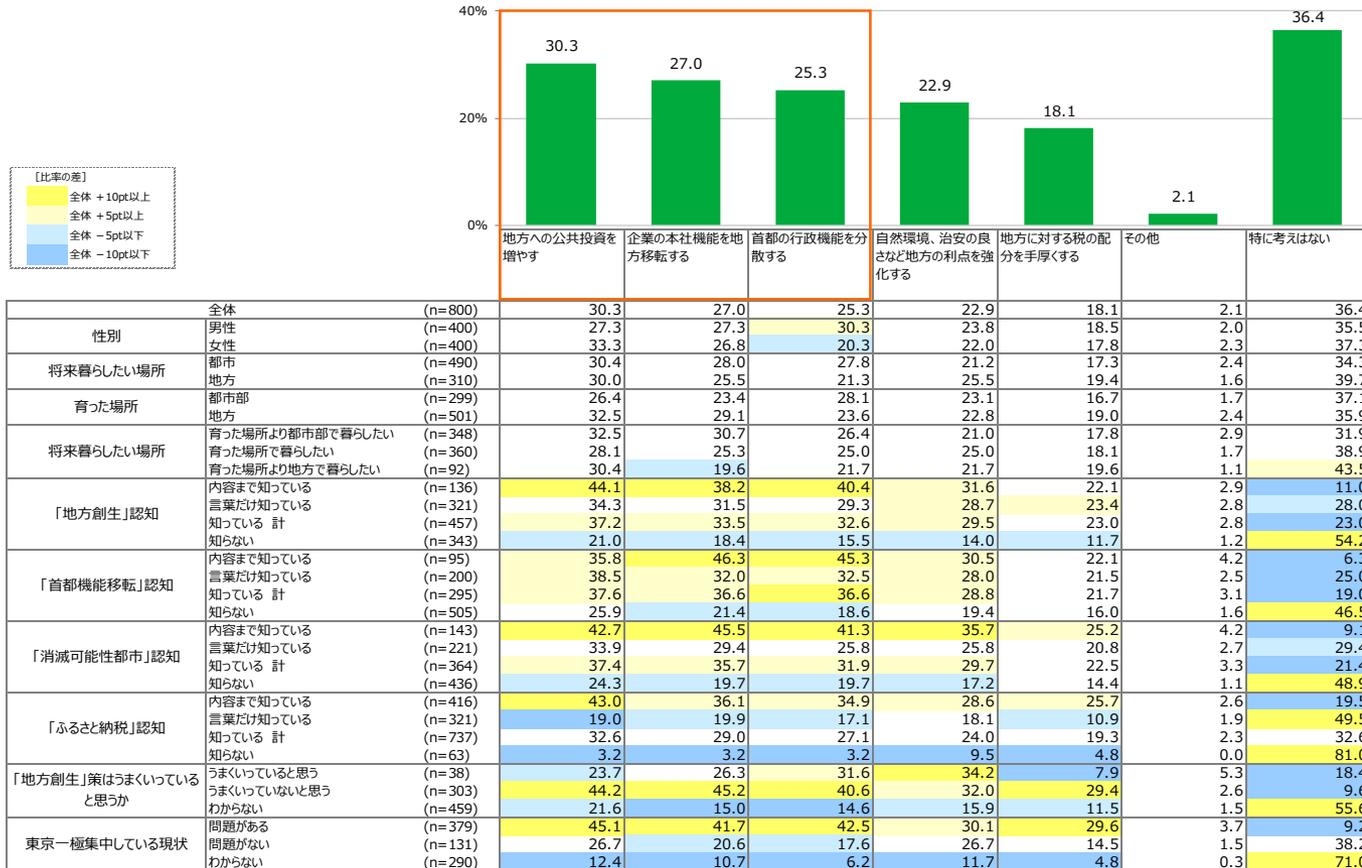
※東京に一極集中している現状について「問題がある」回答者
Q8 その理由としてあてはまるものを全て選択してください。（複数回答）



首都圏への人口流入が続く状況を変えるための対策

- 対策としては、「地方への公共投資を増やす」（30.3%）が最も多く、他「企業の本社機能を地方移転する」（27.0%）、「首都の行政機能を分散する」（25.3%）が上位にあがる。
- 36.4%は「特に考えはない」と回答。

Q9 東京一極集中の是正を目的に、政府は様々な政策を打ちだしていますが、いまだに地方から首都圏への人口流入が続いています。この状況を変えるにはどうすれば良いでしょうか。（複数回答）



首都圏への人口流入が続く状況を変えるための対策 理由

- ・ 「地方への公共投資を増やす」と回答した理由は、「地方は施設が少ないため生活しにくい」「地方も便利だ、経済的利点がある、と思わせないと一部しか地方に興味を持たない」「地方を活性化することにより人口も増えるから」などの意見があがった。
- ・ 「企業の本社機能を移転する」の理由は、「企業が動けばそこで働く人が動く」「地方に企業があれば都市圏に出ないと思うから」など。
- ・ 「首都の行政機能を分散する」の理由は、「国の機能が集中しては、人が集まってしまうのも当然」「分散させることで人の移動が多くなり、地域経済が発展する」「災害等による首都機能の麻痺によるリスクがあるから」など。
- ・ 「地方の利点を強化する」の理由は、「地方に住みたいと思う理由が必要」「地方に魅力がないと人が集まってこない」「都会でわざわざ暮らす必要がないと思うようなまちづくりが必要」など。
- ・ 「地方に対する税の配分を手厚くする」の理由は、「地方活性化にはお金が必要」「公共施設を増やすにしても人材や費用が足りないのも現状」など。
- ・ 「特に考えはない」の理由は、「わからない」「何をしても状況は変わらない」「都市の方が暮らしやすそうだから仕方がない」「東京一極集中でも問題ははない」など。

Q10 前問でそのようにお答えになった理由や問題点をご記入ください。（自由回答抜粋）

「地方への公共投資を増やす」自由回答抜粋

- ・ 地方でも暮らしやすくなれば人口減少を少しは増やせるのではないかと（男性）
- ・ 地方には都市部にはないものが必要。そのためには公共資本が必要だと考える。（男性）
- ・ 地方にも施設や娯楽をふやせばいいとおもうから（女性）
- ・ 地方に公共投資をする→その地方が発展→人が増える（男性）
- ・ 地方は施設が少ないため生活しにくい（女性）
- ・ 地方も便利だ！経済的利点がある！と思わせないと一部しか地方に興味を持たない（女性）
- ・ 地方を活性化することにより人口も増えるから。（女性）
- ・ 地方での生活を都市部と同等の水準に引き上げる。（男性）
- ・ 地方の金が足りていないため開発などが進んでいないから。（男性）

「企業の本社機能を地方移転する」自由回答抜粋

- ・ 企業が首都に集中しているため人口が首都に集中していると思ったため。（女性）
- ・ 地方に会社が多く移れば、地方の産業も活発化されると思うから（男性）
- ・ 企業が動けばそこで働く人々が動くから。（女性）
- ・ 企業の本社機能があることが一番東京一極集中の大きな要因だと思うから（男性）
- ・ 就職時に上京する人が多く、会社もほぼ東京に集中しているため。（男性）
- ・ 地方に企業があれば都市圏に出ないと思うから。（女性）
- ・ 地方に働く場所や人を留めさせる対策が必要。（女性）
- ・ 働く場所がない、公共交通機関が弱く住みにくいから（男性）

「首都の行政機能を分散する」自由回答抜粋

- ・ やはり行政自体が大きく動くことは一極集中は正に最も有効だと思うから。（男性）
- ・ 東京に色々なものがあるので東京に人が集中してしまうと思う（男性）
- ・ 首都に流行や国の機能といった様々なものが集中しては、人が集まってしまうのも当然なので地方に力を入れて活性化すればいいと思ったから。（男性）
- ・ 官庁が地方へ行くことで自然と人間は地方へ動くと思う（男性）
- ・ 首都機能を分散することで人の移動が多くなり地域経済が発展する（男性）
- ・ 分散させることで、必然的に人が集まり、その人のためにいろんな機能が発達すると思うから。（女性）
- ・ 一極集中が問題であると思う理由の一つに、災害等による首都機能の麻痺によるリスクがあるから（男性）
- ・ 権力（省庁や企業本社など）が東京に集中していて首都直下型地震が起こってしまった際に麻痺が起こってしまい被害がより大きくなってしまふ点（女性）

「自然環境、治安の良さなど地方の利点を強化する」自由回答抜粋

- ・ 地方の良さを引き出すことで地方の人口が増加すると思ったから。（女性）
- ・ 地方に魅力がないと人が集まってこないと思うから。（男性）
- ・ 地方に住みたいと思う理由が必要だから。（女性）
- ・ 都市が地方の上に立つような行政ではなく、地方も都市部とは違う個性を活かした行政をすべき（男性）
- ・ 地方の魅力上げて都会でわざわざ暮らす必要がないと思うようなまちづくりをするべきだから（男性）
- ・ 自然環境や土地の文化などは都市の人々の興味を起こしやすい。（女性）
- ・ 首都圏の魅力を減らすよりも、地方ならではの魅力を伸ばした方がいいと思った（男性）

「地方に対する税の配分を手厚くする」自由回答抜粋

- ・ 金銭面で生活を豊かにすることで、人を呼び込みやすくなるから（女性）
- ・ 資金的援助をすればいいと思うから（男性）
- ・ 地方活性化にはそれなりのお金が必要だと思うから。（女性）
- ・ 地方にお金が回ってないから（男性）
- ・ 公共施設などを増やすにしても人材や費用が足りないのも現状だと思うから。（男性）

「特に考えはない」自由回答抜粋

- ・ わからない（男性）
- ・ 何をしても状況は変わらないと思うから。（女性）
- ・ 現地点で、どのような手を打っても効果が少ないと思う（男性）
- ・ 色々やっても東京には敵わないと思う（女性）
- ・ 都市の方が暮らしやすそうなので仕方ない（女性）
- ・ 東京一極集中でも問題は無いと感じているから（男性）

【首都圏への人口流入が続く状況を変えるための対策 理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/